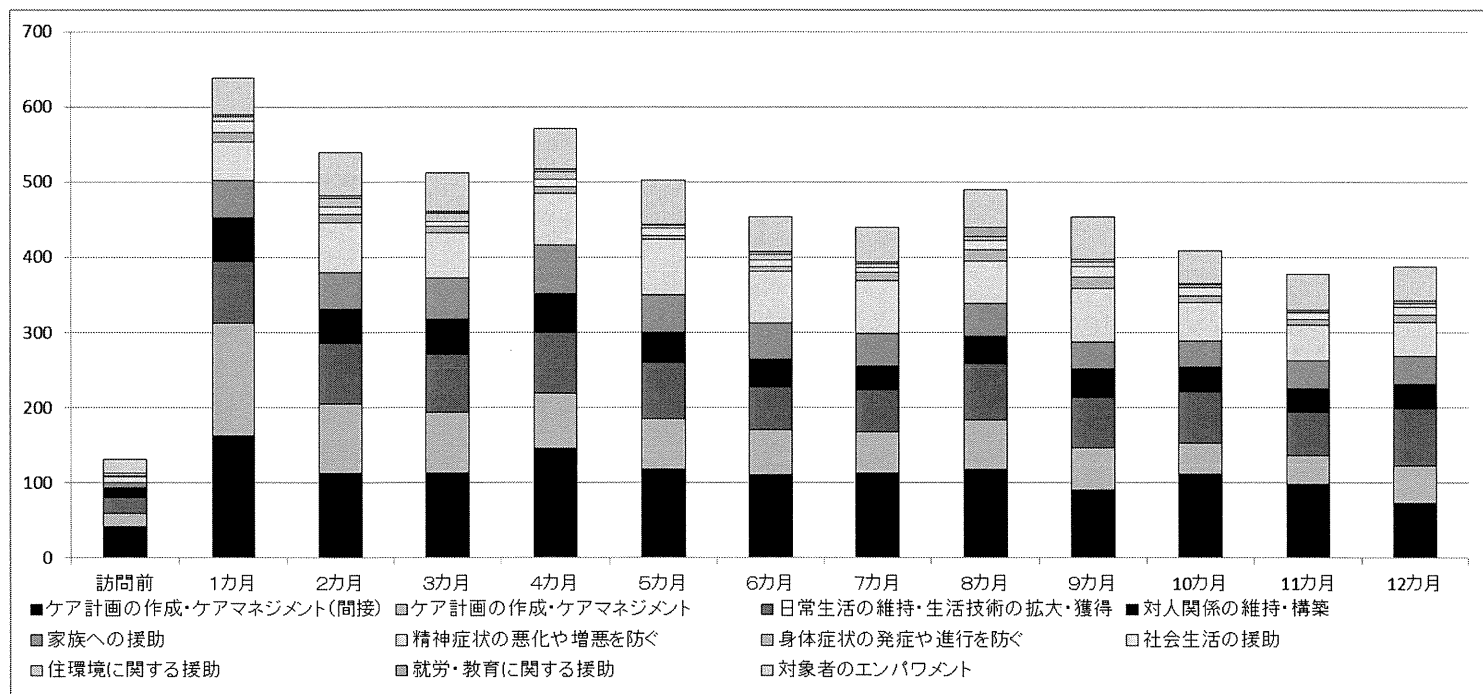


さらに、入院等以外の群である 210 名について、訪問前から支援開始後 12 ヶ月目までに投入された 1 人当たりケア量（分）の推移についてみると、1 ヶ月目のケア量が 701 分と最も多く、2 ヶ月目以降は概ね 400 分～600 点前後で平準化しており、入院・施設入所の群と比べて投入されたケア量は総じて多くなっていた。

また、支援開始直後は、「ケア計画の作成・ケアマネジメント」の割合が多いが、支援が進むと「日常生活の維持・生活技術の拡大・獲得」や「精神症状の悪化や増悪を防ぐ」の割合が多くなっていた。特に入院・施設入所の群と比べて「対象者のエンパワメント」の割合の増加傾向が顕著であった。

図表Ⅱ-27 1人当たりケア内容別のケア量（分）と割合の推移【入院等以外】



(単位：分)

		訪問前	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月	4ヵ月	5ヵ月	6ヵ月	7ヵ月	8ヵ月	9ヵ月	10ヵ月	11ヵ月	12ヵ月
直 接	ケア計画の作成・ケアマネジメント	18	149	92	82	73	67	60	54	67	56	41	39	50
	日常生活の維持・生活技術の拡大・獲得	21	83	81	77	82	75	57	56	74	68	69	58	76
	対人関係の維持・構築	12	57	45	46	51	40	36	32	37	37	32	31	33
	家族への援助	8	50	49	55	65	50	49	43	43	36	35	37	38
	精神症状の悪化や増悪を防ぐ	7	52	66	60	69	73	69	71	57	72	52	48	45
	身体症状の発症や進行を防ぐ	1	12	11	9	8	6	6	11	15	15	9	7	9
	社会生活の援助	1	15	10	6	11	10	9	6	12	13	11	9	10
	住環境に関する援助	3	6	12	11	10	3	8	5	5	7	3	1	5
	就労・教育に関する援助	1	2	3	3	3	2	3	2	13	3	2	3	4
	対象者のエンパワメント	18	49	58	51	54	58	46	47	50	56	43	47	45
間 接	ケア計画の作成・ケアマネジメント	41	163	113	112	145	118	110	113	117	90	111	97	72
	その他	54	61	52	51	49	45	42	36	36	31	29	33	29
合 計		185	701	592	563	620	547	497	477	528	486	437	410	416
人 数 (人)		129	210	198	200	195	191	192	178	156	143	138	127	105

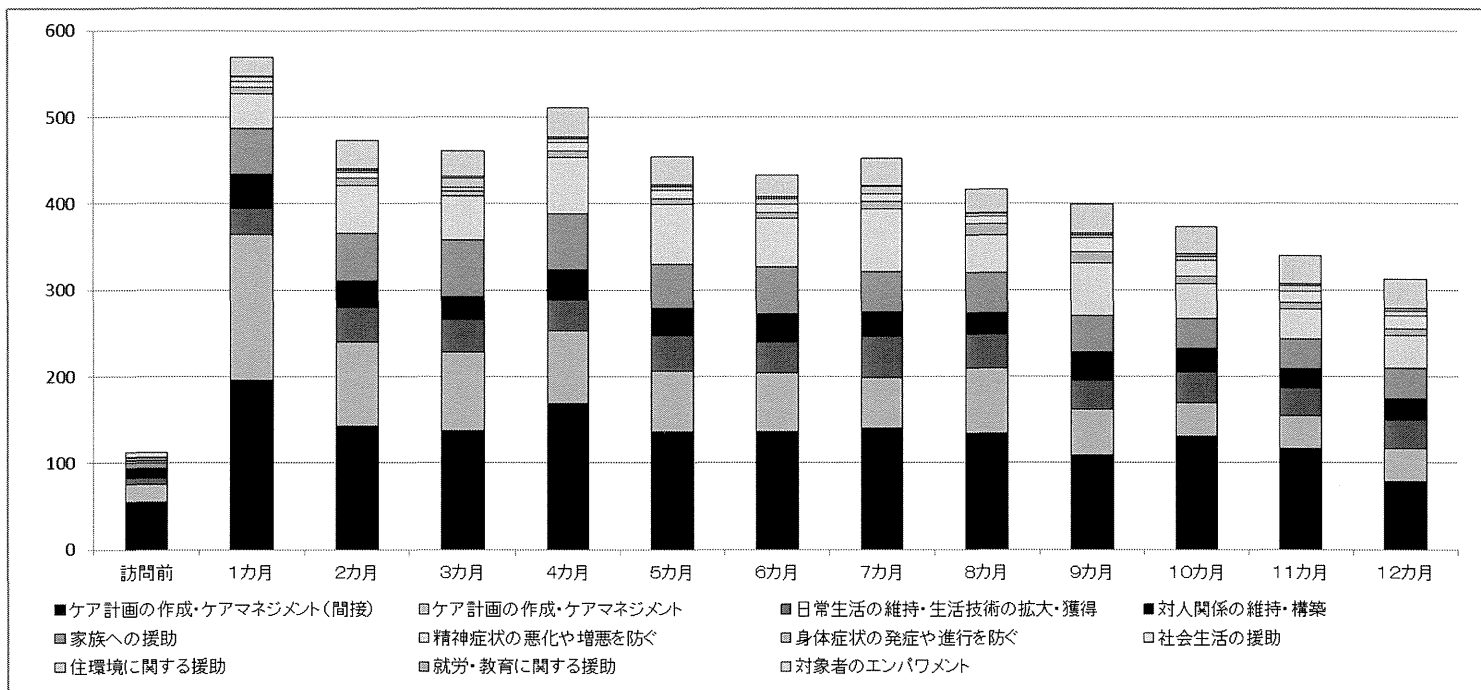
2) ケースの類型別ケア量の推移

ケースの類型別に、支援開始から12カ月目までに投入された1人当たりのケア量および割合の推移について、図表Ⅱ-28～30に示した。

(1) 受療中断者

受療中断者では、全期間を通し、「ケア計画の作成・ケアマネジメント」に次いで、「家族への援助」、「精神症状の悪化や増悪を防ぐ」が多くなっていた。特に後半では「精神症状の悪化や増悪を防ぐ」「対象者のエンパワメント」が多くなっていた。

図表Ⅱ-28 ケア内容別1人あたりケア量(分)の推移【類型別・受療中断者】



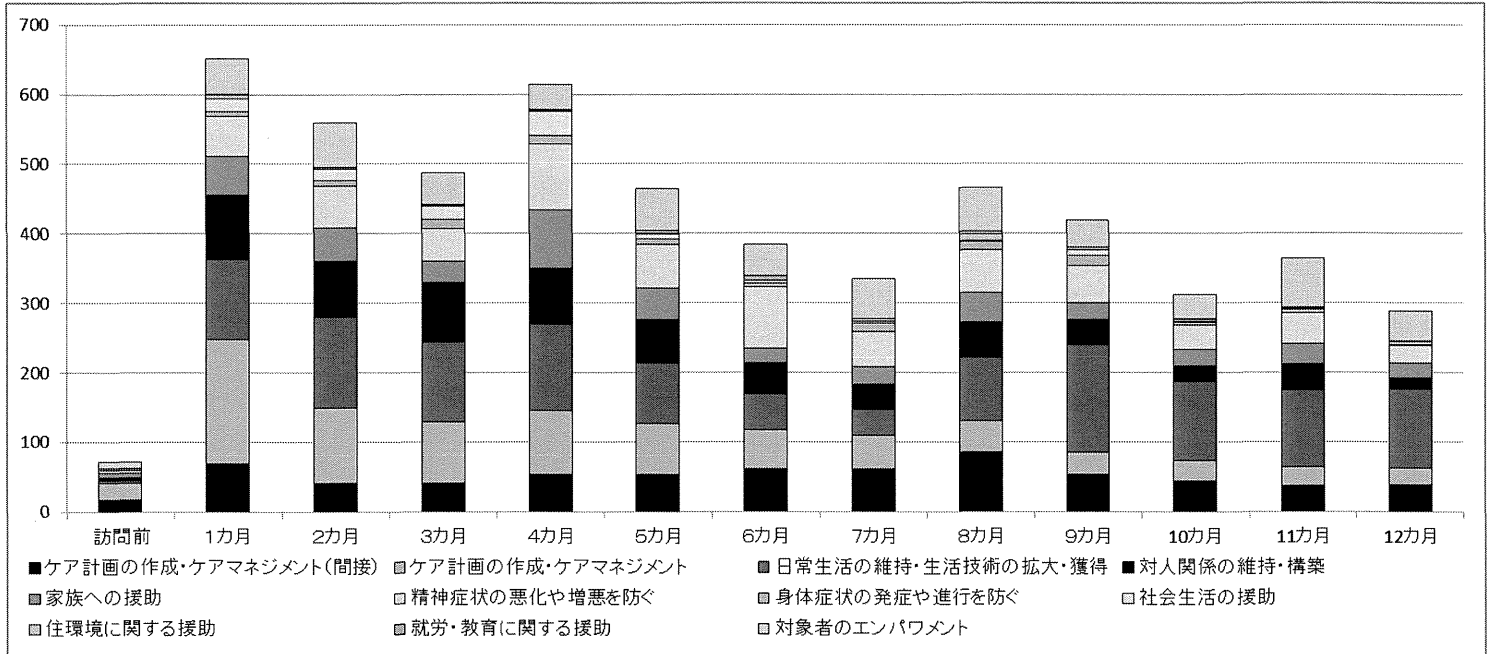
(単位:分)

		訪問前	1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7カ月	8カ月	9カ月	10カ月	11カ月	12カ月
直 接	ケア計画の作成・ケアマネジメント	21	168	98	90	84	71	67	59	76	53	39	38	37
	日常生活の維持・生活技術の拡大・獲得	7	31	39	39	36	41	36	48	39	34	35	32	34
	対人関係の維持・構築	11	39	31	26	34	31	33	28	24	32	27	22	23
	家族への援助	7	54	55	66	65	51	54	46	46	42	35	35	36
	精神症状の悪化や増悪を防ぐ	3	40	56	51	66	70	57	72	44	61	40	35	39
	身体症状の発症や進行を防ぐ	0	7	9	6	7	7	6	9	13	13	9	7	7
	社会生活の援助	0	7	6	4	10	9	10	8	9	17	19	13	15
	住環境に関する援助	3	6	2	11	5	4	7	9	2	3	4	7	6
	就労・教育に関する援助	1	1	2	2	2	2	2	1	2	2	3	2	2
	対象者のエンパワメント	6	22	33	29	34	33	24	31	26	33	32	32	34
間 接	ケア計画の作成・ケアマネジメント	55	196	142	138	169	136	137	140	134	109	131	117	79
	その他	50	65	57	57	50	46	39	40	38	33	33	35	30
合 計		162	634	530	518	561	501	472	493	454	432	406	375	343
人 数 (人)		138	208	195	188	179	172	161	145	128	118	110	101	85

(2) 未受診者

未受診者では、他類型と比較するとやや「ケア計画の作成・ケアマネジメント」の割合が少ないという傾向がみられた。ケア内容の中で最も割合が多かったのは、「日常生活の維持・生活技術の獲得・拡大」であり、支援中期で「精神症状の悪化や増悪を防ぐ」が多くなっていた。

図表Ⅱ-29 ケア内容別1人あたりケア量(分)の推移【類型別・未受診者】



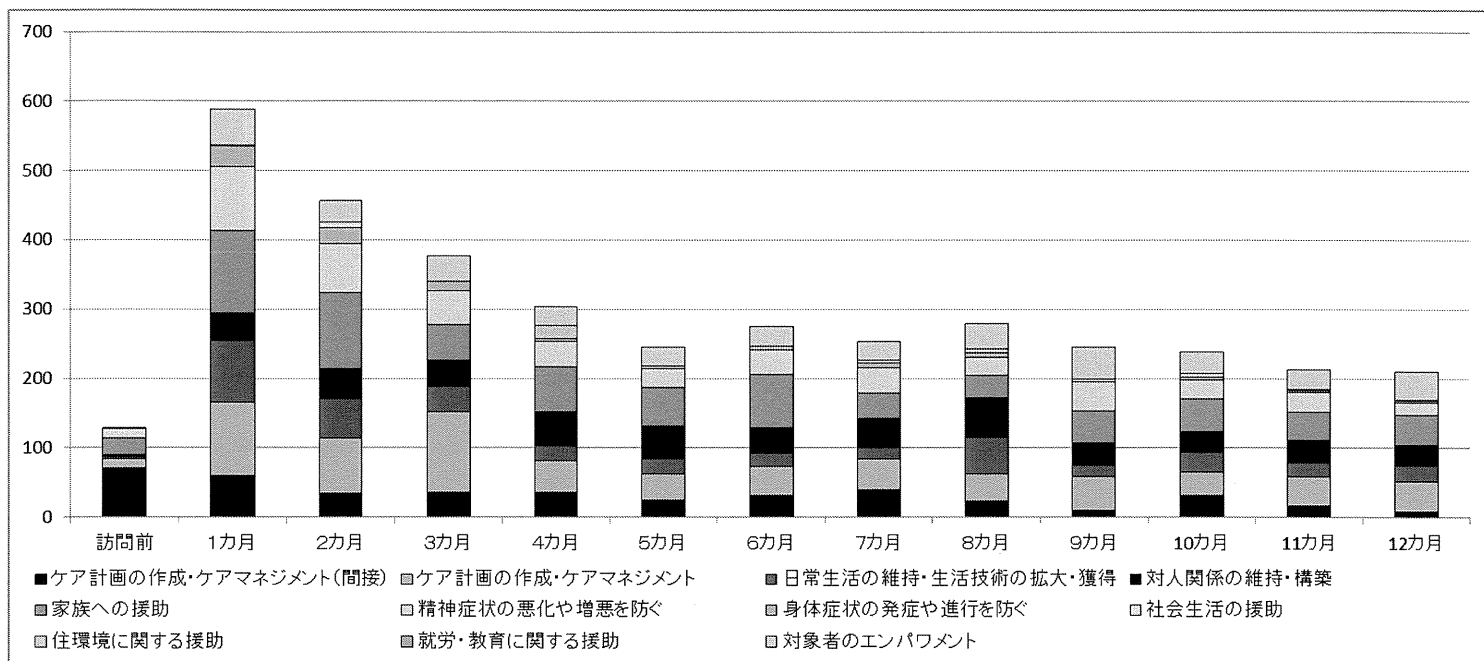
(単位：分)

		訪問前	1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7カ月	8カ月	9カ月	10カ月	11カ月	12カ月	
直 接	ケア計画の作成・ケアマネジメント	25	180	108	89	92	74	56	49	45	31	29	27	24	
	日常生活の維持・生活技術の拡大・獲得	4	114	131	114	125	87	52	37	90	155	114	111	113	
	対人関係の維持・構築	3	92	81	86	80	63	44	36	51	37	23	37	16	
	家族への援助	7	56	47	30	84	45	22	25	43	23	23	30	22	
	精神症状の悪化や増悪を防ぐ	4	58	60	47	95	63	88	51	61	54	36	44	25	
	身体症状の発症や進行を防ぐ	3	7	8	13	11	7	6	12	12	14	4	5	1	
	社会生活の援助	0	18	16	19	35	7	4	0	2	8	1	2	4	
	住環境に関する援助	0	5	0	1	2	1	0	3	9	0	3	0	1	
	就労・教育に関する援助	0	2	3	2	1	4	6	4	4	4	4	1	1	1
	対象者のエンパワメント	9	50	64	45	36	61	45	57	63	39	35	71	43	
間 接	ケア計画の作成・ケアマネジメント	17	69	41	41	53	53	61	61	86	54	44	37	39	
	その他	51	50	48	47	56	45	68	39	47	26	19	28	23	
合 計		124	700	606	534	668	510	452	373	514	445	331	393	313	
人 数 (人)		28	49	41	40	37	35	38	35	30	27	24	20	18	

(3) ひきこもり状態の者

ひきこもり状態の者では、他の類型に比べ、「家族への援助」の割合が多くなっていた。また後半で「対人関係の維持・構築」が増加している点で、他類型の者との相違がみられた。

図表Ⅱ-30 ケア内容別1人あたりケア量(分)の推移【類型別・ひきこもり状態の者】



(単位：分)

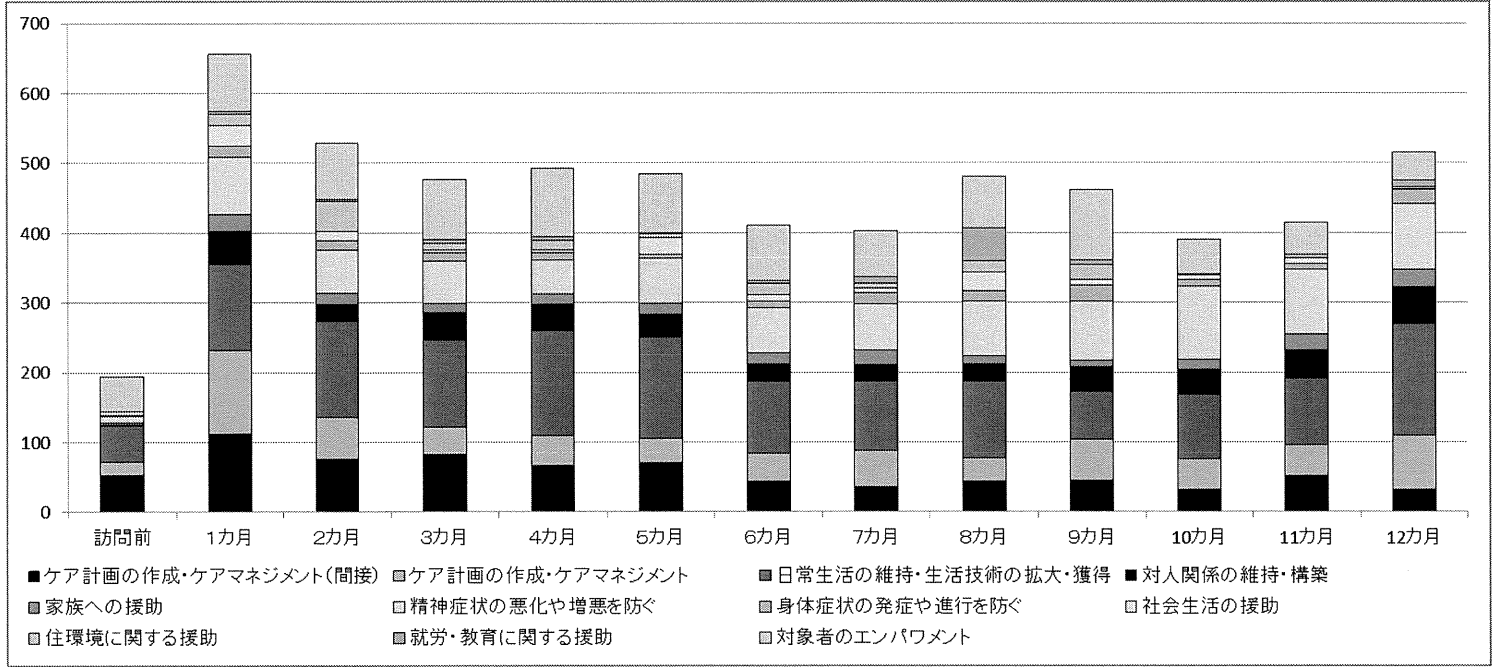
		訪問前	1 か月	2 か月	3 か月	4 か月	5 か月	6 か月	7 か月	8 か月	9 か月	10 か月	11 か月	12 か月
直 接	ケア計画の作成・ケアマネジメント	13	105	80	116	46	37	42	44	40	48	34	43	43
	日常生活の維持・生活技術の拡大・獲得	3	90	57	36	22	22	19	17	52	17	28	20	23
	対人関係の維持・構築	3	40	44	39	49	48	37	42	57	33	29	32	30
	家族への援助	24	119	109	51	65	55	77	36	33	45	48	41	43
	精神症状の悪化や増悪を防ぐ	14	92	70	49	37	27	36	37	25	42	27	28	18
	身体症状の発症や進行を防ぐ	0	29	24	13	4	5	5	7	8	1	4	3	2
	社会生活の援助	0	0	8	0	0	0	0	3	5	4	5	2	2
	住環境に関する援助	0	1	0	0	19	0	0	1	0	0	0	0	0
	就労・教育に関する援助	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	対象者のエンパワメント	1	52	31	37	27	27	29	27	36	45	32	28	40
間 接	ケア計画の作成・ケアマネジメント	71	60	34	36	35	25	31	40	23	10	32	16	9
	その他	92	51	63	53	47	45	51	29	45	35	39	40	23
合 計		222	640	521	430	350	290	328	282	323	278	279	253	232
人 数 (人)		19	29	26	25	23	20	22	19	18	15	17	16	16

(4) 長期入院等の後退院した者や入院を繰り返す者

長期入院等の後退院した者や入院を繰り返す者では、全期間を通し「日常生活の維持・生活技術の拡大・獲得」が多くなっていった。また、「家族への援助」の割合は他類型に比べ少ないという特徴がみられた。

図表Ⅱ-31 ケア内容別1人あたりケア量(分)の推移

【類型別・長期入院等の後退院した者や入院を繰り返す者】



(単位：分)

		訪問前	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月
直 接	ケア計画の作成・ケアマネジメント	19	120	60	38	43	36	41	52	33	59	44	45	78
	日常生活の維持・生活技術の拡大・獲得	52	123	137	125	150	145	103	100	110	69	93	96	160
	対人関係の維持・構築	1	48	25	40	38	32	25	22	25	34	34	40	52
	家族への援助	3	23	16	13	14	16	16	22	12	10	15	23	25
	精神症状の悪化や増悪を防ぐ	9	82	61	60	49	64	64	66	77	85	105	93	95
	身体症状の発症や進行を防ぐ	2	17	14	13	11	6	10	16	15	23	10	7	19
	社会生活の援助	5	30	14	3	3	24	9	6	27	7	6	8	2
	住環境に関する援助	1	16	42	10	14	5	16	7	16	22	1	1	3
	就労・教育に関する援助	0	4	3	6	6	2	4	10	47	7	1	5	9
	対象者のエンパワメント	49	81	81	85	97	85	79	65	75	101	50	46	40
間 接	ケア計画の作成・ケアマネジメント	53	112	76	83	67	70	43	36	44	45	32	51	32
	その他	47	38	26	31	35	18	19	27	19	34	26	34	27
合 計		240	693	557	509	528	504	428	428	501	496	416	449	543
人 数 (人)		30	59	51	52	51	51	52	43	37	29	31	27	20

3) ケースの診断名別（統合失調症）ケア量の推移

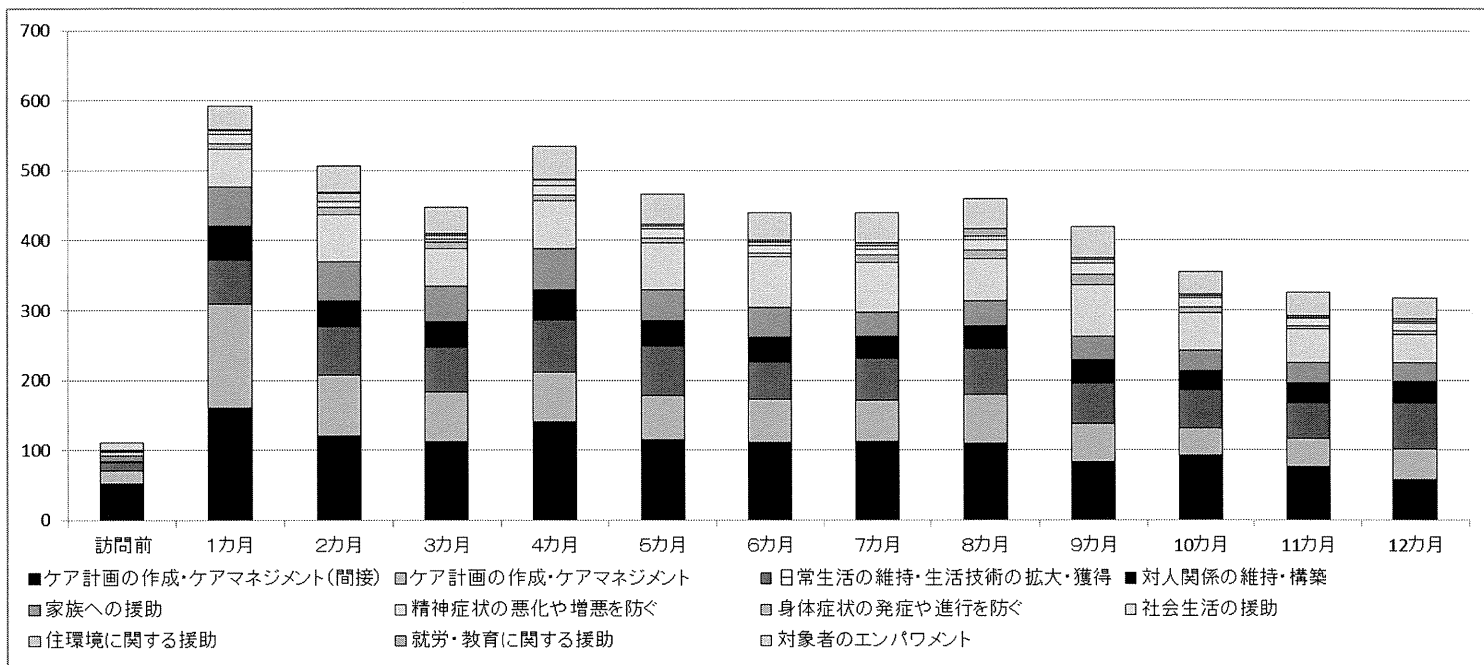
(1) 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害

ケースの診断名別で支援開始から12カ月目までに投入された1人当たりのケア量の推移について、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」のケア量および割合を図表Ⅱ-32に示した。

支援開始から前半には「家族への支援」がやや多く、後半では「日常生活の維持・生活技術の拡大・獲得」、「対象者のエンパワメント」が多くなっていった。

図表Ⅱ-32 ケア内容別1人あたりケア量の推移(分)

【診断名別・統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害】



(単位:分)

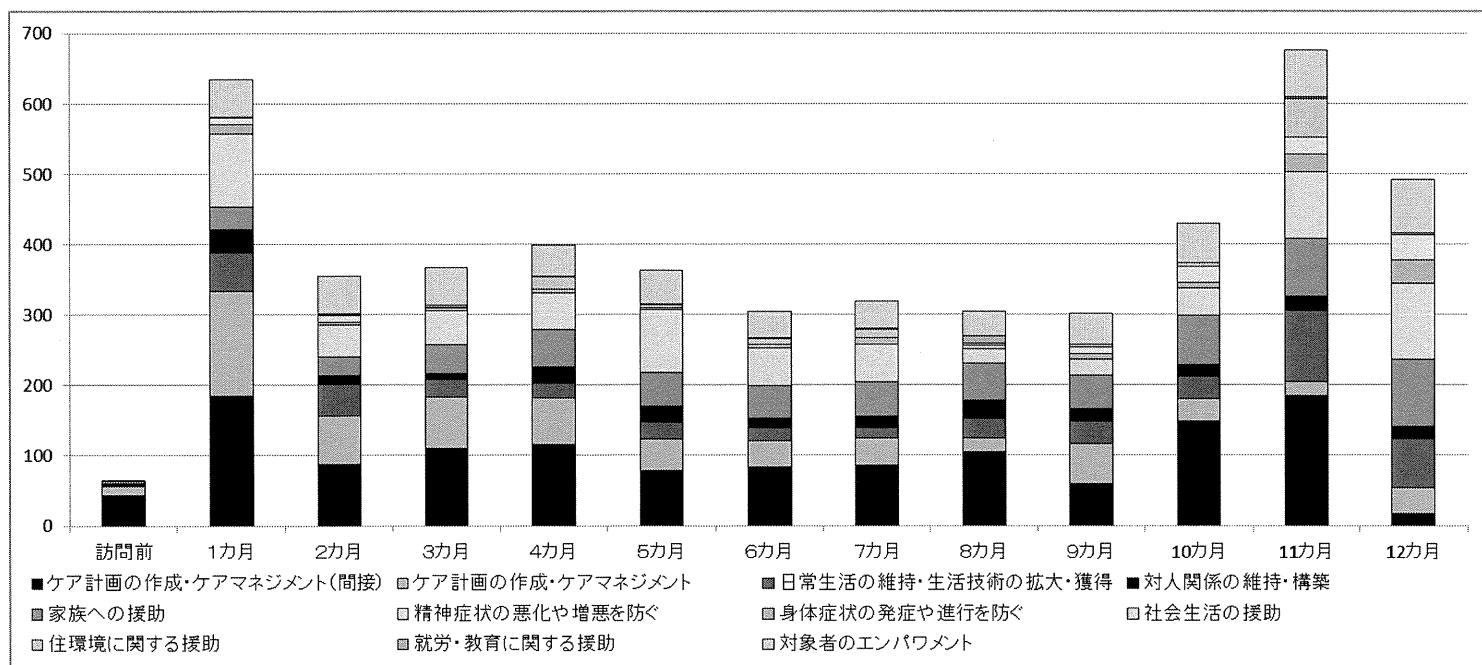
		訪問前	1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7カ月	8カ月	9カ月	10カ月	11カ月	12カ月
直 接	ケア計画の作成・ケアマネジメント	19	148	87	72	72	63	62	59	70	55	39	40	45
	日常生活の維持・生活技術の拡大・獲得	12	63	70	64	75	71	54	60	65	58	55	51	66
	対人関係の維持・構築	2	49	36	36	43	37	34	31	32	33	27	28	30
	家族への援助	8	56	56	51	58	43	43	35	37	33	29	29	27
	精神症状の悪化や増悪を防ぐ	5	54	67	54	69	68	72	71	60	74	54	48	40
	身体症状の発症や進行を防ぐ	1	8	10	9	8	6	6	10	12	15	8	5	6
	社会生活の援助	1	13	9	4	14	14	11	8	14	16	14	10	10
	住環境に関する援助	0	6	11	5	7	4	5	6	6	5	2	1	3
	就労・教育に関する援助	0	1	2	3	2	2	3	3	11	3	3	3	4
	対象者のエンパワメント	11	33	38	38	46	43	38	43	42	45	32	34	30
間 接	ケア計画の作成・ケアマネジメント	52	161	121	112	140	115	111	113	110	83	92	77	57
	その他	51	57	48	52	51	42	40	39	35	33	30	35	28
合 計		162	649	554	500	586	506	476	478	494	454	384	360	346
人 数 (人)		151	249	229	229	215	210	209	186	164	149	145	131	107

(2) 気分（感情）障害

ケースの診断名別で支援開始から12ヵ月目までに投入された1人当たりのケア量の推移について、「気分（感情）障害」のケア量および割合を図表Ⅱ-33に示した。

支援開始時（1ヵ月頃）は統合失調症と同程度のケア量を要したが、2ヵ月目以降は急激にケア量が低下していた。統合失調症と比較して「精神症状の悪化や増悪を防ぐ」が多く、次第に「家族への援助」の割合が多くなっていった。

図表Ⅱ-33 ケア内容別1人あたりケア量の推移（分）【診断名別・気分（感情）障害】



(単位：分)

		訪問前	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月	4ヵ月	5ヵ月	6ヵ月	7ヵ月	8ヵ月	9ヵ月	10ヵ月	11ヵ月	12ヵ月
直 接	ケア計画の作成・ケアマネジメント	13	148	69	73	67	45	38	38	21	57	32	19	37
	日常生活の維持・生活技術の拡大・獲得	0	55	46	25	21	24	18	15	27	32	31	102	69
	対人関係の維持・構築	2	33	12	8	23	23	14	16	26	17	17	19	18
	家族への援助	2	32	26	42	53	48	46	50	53	48	70	83	96
	精神症状の悪化や増悪を防ぐ	2	104	45	48	52	89	53	53	20	22	39	94	107
	身体症状の発症や進行を防ぐ	1	13	4	3	5	3	5	9	5	9	7	26	34
	社会生活の援助	0	10	10	2	0	0	1	0	0	9	23	24	36
	住環境に関する援助	0	0	1	0	18	4	8	12	3	0	5	55	0
	就労・教育に関する援助	0	1	1	2	1	1	1	1	11	3	1	2	2
	対象者のエンパワメント	1	53	54	54	44	48	37	39	34	45	56	66	76
間 接	ケア計画の作成・ケアマネジメント	44	185	87	110	115	78	83	86	104	60	149	185	17
	その他	36	50	42	34	37	26	29	35	53	28	33	56	38
合 計		101	684	398	400	435	388	332	353	356	330	464	729	529
人 数 (人)		19	29	27	26	24	24	19	17	14	13	12	10	10

4) 職種別のケア量の推移

分析の対象全体である 346 名について、訪問前から支援開始後 12 カ月目までに投入された 1 人当たりケア量（分）の職種別の推移をみると、チームの職種構成に多分に影響を受けているものの、直接ケア、間接ケアともに看護師、精神保健福祉士の投入量が多くなっていた。

なお、直接ケアをみると、精神科医、保健師は、2 カ月目以降に比べて 1 カ月目の割合が最も多くなっていた。

図表 II-34 職種別のケア量（分）の推移【全体】

（単位：分）

		訪問前	1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7カ月	8カ月	9カ月	10カ月	11カ月	12カ月
直 接	精神科医	3	17	9	9	9	7	8	7	5	6	6	4	4
	保健師	3	29	20	17	16	13	18	14	22	20	20	19	12
	看護師	10	123	114	97	105	90	81	83	88	88	68	68	64
	精神保健福祉士	31	185	146	138	149	137	125	121	108	102	90	90	84
	作業療法士	18	36	34	29	33	35	27	30	37	42	28	29	36
	臨床心理士	1	22	25	23	31	28	26	28	26	26	18	14	18
	薬剤師	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談支援専門員	0	12	9	9	8	6	6	6	14	16	14	11	16
	事務職員	0	5	5	7	6	3	3	3	0	1	1	0	2
	ピアサポーター	3	15	17	16	16	17	11	11	9	10	11	11	16
	その他	0	1	2	4	4	6	3	4	11	6	8	11	16
	小計		69	445	382	351	378	341	308	308	321	316	262	256
間 接	精神科医	26	40	35	35	36	32	30	30	24	23	21	23	17
	保健師	27	26	19	16	15	9	14	7	9	10	9	11	8
	看護師	65	117	103	101	98	86	84	85	83	69	72	64	47
	精神保健福祉士	94	144	119	114	117	107	102	99	94	85	82	79	63
	作業療法士	41	45	45	39	41	39	38	37	35	30	29	31	24
	臨床心理士	32	31	27	23	22	22	23	21	18	19	15	17	13
	薬剤師	0	1	2	3	4	2	3	5	4	3	5	6	3
	栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談支援専門員	11	12	10	10	6	7	6	5	6	8	4	6	4
	事務職員	9	14	14	13	9	8	7	8	6	7	5	7	6
	ピアサポーター	29	24	21	20	20	14	18	13	12	12	9	13	11
	その他	7	8	6	5	4	4	3	3	3	3	3	4	3
	小計		340	461	401	379	370	329	327	314	295	270	254	260
合計		408	906	783	731	749	670	636	621	616	585	516	517	469
人数(人)		215	345	313	305	290	278	273	242	213	189	182	164	139

図表Ⅱ-35 職種別のケア量（分）の割合の推移【全体】

(単位：%)

		訪問前	1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7カ月	8カ月	9カ月	10カ月	11カ月	12カ月
直 接	精神科医	0.7	1.9	1.1	1.2	1.2	1.1	1.3	1.1	0.8	1.0	1.1	0.8	0.9
	保健師	0.6	3.2	2.6	2.4	2.1	2.0	2.9	2.3	3.6	3.5	3.8	3.7	2.6
	看護師	2.4	13.6	14.6	13.3	14.1	13.4	12.8	13.3	14.3	15.1	13.1	13.1	13.7
	精神保健福祉士	7.6	20.4	18.7	18.9	19.9	20.4	19.7	19.5	17.5	17.4	17.4	17.3	17.8
	作業療法士	4.3	4.0	4.4	4.0	4.4	5.2	4.2	4.9	6.0	7.2	5.5	5.5	7.6
	臨床心理士	0.3	2.4	3.2	3.2	4.1	4.2	4.0	4.6	4.1	4.4	3.4	2.7	3.8
	薬剤師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	栄養士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	相談支援専門員	0.1	1.3	1.2	1.3	1.1	0.8	0.9	1.0	2.2	2.8	2.7	2.2	3.5
	事務職員	0.0	0.5	0.7	1.0	0.9	0.4	0.4	0.4	0.1	0.1	0.2	0.0	0.4
	ピアサポーター	0.8	1.6	2.1	2.2	2.1	2.5	1.7	1.8	1.5	1.6	2.0	2.1	3.5
	その他	0.0	0.1	0.3	0.5	0.6	0.9	0.5	0.7	1.9	1.0	1.5	2.2	3.5
		小計	16.9	49.1	48.8	48.1	50.6	50.9	48.5	49.5	52.1	53.9	50.8	49.6
間 接	精神科医	6.3	4.4	4.5	4.8	4.8	4.7	4.7	4.9	3.9	3.9	4.2	4.5	3.7
	保健師	6.5	2.8	2.4	2.2	2.0	1.4	2.2	1.2	1.5	1.8	1.7	2.1	1.8
	看護師	15.9	12.9	13.2	13.8	13.1	12.8	13.2	13.7	13.5	11.7	13.9	12.3	10.1
	精神保健福祉士	23.0	15.9	15.1	15.6	15.7	15.9	16.1	15.9	15.3	14.6	15.8	15.4	13.5
	作業療法士	10.0	5.0	5.8	5.3	5.4	5.8	5.9	6.0	5.7	5.1	5.6	6.0	5.0
	臨床心理士	7.7	3.4	3.5	3.2	2.9	3.3	3.7	3.4	2.9	3.2	2.8	3.3	2.8
	薬剤師	0.1	0.1	0.2	0.4	0.5	0.4	0.4	0.8	0.6	0.5	0.9	1.1	0.6
	栄養士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
	相談支援専門員	2.7	1.3	1.2	1.3	0.8	1.0	1.0	0.9	1.0	1.3	0.8	1.1	0.9
	事務職員	2.1	1.5	1.8	1.8	1.2	1.1	1.2	1.2	1.0	1.3	1.0	1.4	1.4
	ピアサポーター	7.0	2.7	2.7	2.7	2.6	2.2	2.8	2.1	2.0	2.1	1.8	2.5	2.3
	その他	1.7	0.8	0.8	0.7	0.5	0.6	0.4	0.4	0.5	0.5	0.6	0.7	0.7
		小計	83.1	50.9	51.2	51.9	49.4	49.1	51.5	50.5	47.9	46.1	49.2	50.4
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

次に、入院・施設入所ケース 83 名への支援内容について、訪問前から支援開始後 12 カ月目までに投入されたケース 1 人当たりケア量（分）の職種別の推移をみると、直接ケア、間接ケアともに看護師、精神保健福祉士の投入量が多くなっていた。

図表Ⅱ-36 職種別のケア量（分）の推移【入院・施設入所】

（単位：分）

		訪問前	1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7カ月	8カ月	9カ月	10カ月	11カ月	12カ月
直 接	精神科医	5	18	9	10	18	12	13	7	5	6	13	4	3
	保健師	3	30	12	8	17	13	6	18	17	10	22	17	25
	看護師	5	122	132	107	110	94	91	88	67	73	21	27	29
	精神保健福祉士	20	181	139	106	111	120	103	133	89	106	98	163	66
	作業療法士	0	30	35	22	34	21	36	55	46	23	30	19	24
	臨床心理士	4	15	16	16	30	35	33	32	27	13	22	3	1
	薬剤師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談支援専門員	0	3	4	5	4	2	1	2	0	0	0	0	0
	事務職員	0	2	9	14	12	2	0	0	0	0	0	0	0
	ピアサポーター	1	4	3	0	0	1	1	1	3	0	1	2	42
	その他	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	38	406	362	287	335	301	284	335	252	231	207	235	191
間 接	精神科医	29	48	40	45	37	39	35	29	31	35	30	19	18
	保健師	15	16	12	13	13	7	12	12	11	17	14	10	11
	看護師	80	120	112	129	79	68	86	71	90	103	68	64	43
	精神保健福祉士	110	143	120	124	95	91	93	100	97	126	98	89	54
	作業療法士	37	41	37	39	35	30	25	26	34	34	24	24	12
	臨床心理士	23	34	25	25	20	18	21	14	19	22	18	18	6
	薬剤師	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談支援専門員	9	19	12	10	7	5	5	1	7	5	1	3	4
	事務職員	7	14	23	21	15	10	9	10	6	8	3	6	7
	ピアサポーター	13	8	7	11	13	8	7	6	6	8	6	5	8
	その他	10	6	5	3	3	1	2	2	1	0	0	0	2
	小計	332	450	394	419	317	276	295	272	301	358	263	238	165
合計	370	857	756	706	651	577	579	607	554	589	470	473	356	
人数(人)	48	82	71	62	54	50	44	33	28	24	25	21	17	

図表Ⅱ-37 職種別のケア量（分）の割合の推移【入院・施設入所】

(単位：%)

		訪問前	1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7カ月	8カ月	9カ月	10カ月	11カ月	12カ月
直 接	精神科医	1.4	2.1	1.2	1.4	2.8	2.1	2.2	1.1	0.9	1.0	2.7	0.8	0.8
	保健師	0.8	3.5	1.6	1.2	2.6	2.3	1.1	2.9	3.0	1.8	4.8	3.7	7.0
	看護師	1.3	14.2	17.5	15.1	16.9	16.3	15.7	14.4	12.1	12.4	4.4	5.7	8.3
	精神保健福祉士	5.4	21.2	18.4	15.0	17.0	20.8	17.8	21.9	16.0	17.9	20.8	34.4	18.5
	作業療法士	0.0	3.5	4.7	3.0	5.2	3.6	6.2	9.1	8.2	3.9	6.3	3.9	6.7
	臨床心理士	1.0	1.7	2.2	2.3	4.5	6.1	5.7	5.2	4.8	2.2	4.7	0.7	0.4
	薬剤師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	栄養士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	相談支援専門員	0.1	0.4	0.5	0.7	0.5	0.3	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事務職員	0.0	0.3	1.1	2.0	1.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ピアサポーター	0.3	0.5	0.4	0.0	0.0	0.2	0.2	0.1	0.5	0.0	0.3	0.5	11.9
	その他	0.0	0.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小計	10.2	47.4	47.9	40.6	51.4	52.2	49.1	55.2	45.6	39.2	44.0	49.6	53.6
間 接	精神科医	7.9	5.6	5.3	6.4	5.6	6.7	6.1	4.8	5.6	6.0	6.4	4.0	5.0
	保健師	4.0	1.8	1.5	1.9	2.0	1.2	2.0	1.9	2.0	2.8	3.1	2.1	3.0
	看護師	21.6	14.0	14.8	18.3	12.2	11.8	14.8	11.7	16.3	17.5	14.5	13.6	12.1
	精神保健福祉士	29.8	16.6	15.9	17.5	14.7	15.7	16.1	16.5	17.5	21.4	20.8	18.8	15.3
	作業療法士	9.9	4.8	5.0	5.5	5.3	5.1	4.4	4.3	6.1	5.7	5.1	5.1	3.3
	臨床心理士	6.2	4.0	3.4	3.5	3.0	3.1	3.6	2.3	3.4	3.7	3.7	3.8	1.8
	薬剤師	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
	栄養士	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0
	相談支援専門員	2.4	2.3	1.5	1.4	1.1	0.9	0.8	0.2	1.2	0.9	0.3	0.6	1.1
	事務職員	1.8	1.7	3.0	2.9	2.3	1.7	1.6	1.6	1.0	1.3	0.7	1.2	1.9
	ピアサポーター	3.5	0.9	1.0	1.5	1.9	1.3	1.2	1.0	1.0	1.3	1.2	1.0	2.2
	その他	2.7	0.7	0.7	0.4	0.4	0.2	0.3	0.3	0.2	0.0	0.0	0.1	0.7
	小計	89.8	52.6	52.1	59.4	48.6	47.8	50.9	44.8	54.4	60.8	56.0	50.4	46.4
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

入院等以外の群である 210 名について、訪問前から支援開始後 12 カ月目までに投入された 1 人当たりケア量（分）の職種別の推移をみると、入院群と同様に、直接ケア、間接ケアともに看護師、精神保健福祉士の投入量が多くなっていた。

なお、直接ケアをみると、精神科医や保健師は 1 カ月目に最も多く関与していた。一方で、臨床心理士や相談支援専門員は 8 カ月目以降増加する傾向がみられた。

図表Ⅱ-38 職種別のケア量（分）の推移【入院等以外】

（単位：分）

		訪問前	1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7カ月	8カ月	9カ月	10カ月	11カ月	12カ月
直 接	精神科医	2	18	8	8	6	6	6	5	4	5	5	5	5
	保健師	1	31	26	22	18	16	25	16	27	23	21	21	11
	看護師	13	136	125	106	119	98	89	91	106	102	85	82	78
	精神保健福祉士	40	186	159	152	167	149	138	124	123	111	95	82	96
	作業療法士	28	38	37	33	35	41	29	29	41	51	32	33	43
	臨床心理士	0	24	28	29	34	30	25	30	27	30	18	15	22
	薬剤師	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談支援専門員	1	16	13	12	10	7	7	8	18	21	18	14	22
	事務職員	0	5	5	6	6	3	4	3	0	1	1	0	3
	ピアサポータ	5	22	25	24	22	24	15	15	12	12	13	14	15
	その他	0	1	2	5	6	8	4	5	15	7	8	14	19
	小計	89	476	427	399	425	383	344	327	374	364	296	280	314
間 接	精神科医	25	41	36	34	37	31	29	32	23	22	21	24	19
	保健師	34	30	23	19	17	11	16	7	10	10	8	12	9
	看護師	55	124	106	101	109	96	87	92	89	68	78	67	53
	精神保健福祉士	89	144	120	120	127	115	107	100	97	84	84	78	71
	作業療法士	44	47	51	43	45	43	41	40	39	31	33	27	25
	臨床心理士	36	30	26	23	23	24	24	22	17	17	15	14	14
	薬剤師	0	1	2	3	5	3	4	7	5	4	6	7	4
	栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談支援専門員	8	9	7	9	4	6	5	5	6	8	5	5	5
	事務職員	8	14	12	11	8	8	8	7	6	8	5	8	7
	ピアサポータ	38	29	28	24	24	18	21	15	15	15	10	15	13
	その他	6	9	7	6	4	4	3	3	3	4	4	4	3
小計	343	479	419	394	404	360	346	331	311	272	270	262	222	
合計	432	955	846	793	829	743	690	658	684	636	566	542	536	
人数(人)	129	210	198	200	195	191	192	178	156	143	138	127	105	

図表Ⅱ-39 職種別のケア量（分）の割合の推移【入院等以外】

(単位：分)

		訪問前	1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7カ月	8カ月	9カ月	10カ月	11カ月	12カ月	
直 接	精神科医	0.5	1.9	1.0	1.0	0.7	0.8	0.9	0.7	0.6	0.8	0.9	0.9	0.9	
	保健師	0.3	3.2	3.0	2.8	2.2	2.2	3.6	2.5	4.0	3.7	3.7	3.9	2.1	
	看護師	3.0	14.2	14.8	13.3	14.3	13.2	12.9	13.8	15.4	16.1	15.0	15.1	14.6	
	精神保健福祉士	9.2	19.5	18.8	19.2	20.1	20.1	20.1	18.9	18.0	17.5	16.8	15.1	17.9	
	作業療法士	6.4	3.9	4.3	4.2	4.2	5.5	4.2	4.4	6.0	8.1	5.6	6.1	8.0	
	臨床心理士	0.1	2.5	3.3	3.7	4.1	4.0	3.7	4.6	4.0	4.7	3.2	2.8	4.1	
	薬剤師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	栄養士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	相談支援専門員	0.1	1.6	1.5	1.5	1.2	1.0	1.0	1.2	2.6	3.3	3.2	2.7	4.1	
	事務職員	0.0	0.5	0.6	0.8	0.8	0.5	0.6	0.4	0.0	0.1	0.2	0.0	0.5	
	ピアサポーター	1.1	2.3	3.0	3.1	2.7	3.3	2.2	2.3	1.8	1.9	2.3	2.5	2.7	
	その他	0.0	0.1	0.2	0.7	0.7	1.0	0.6	0.8	2.2	1.1	1.5	2.5	3.6	
		小計	20.7	49.9	50.5	50.3	51.3	51.6	49.9	49.7	54.6	57.3	52.3	51.6	58.6
間 接	精神科医	5.9	4.3	4.3	4.3	4.5	4.1	4.2	4.9	3.4	3.5	3.8	4.5	3.6	
	保健師	7.9	3.1	2.7	2.3	2.1	1.5	2.4	1.1	1.5	1.6	1.4	2.2	1.7	
	看護師	12.7	13.0	12.5	12.8	13.1	12.9	12.6	13.9	13.0	10.7	13.9	12.3	9.8	
	精神保健福祉士	20.5	15.1	14.2	15.1	15.3	15.5	15.5	15.2	14.1	13.2	14.8	14.5	13.2	
	作業療法士	10.1	4.9	6.0	5.4	5.4	5.8	6.0	6.1	5.6	4.9	5.8	4.9	4.7	
	臨床心理士	8.2	3.2	3.1	2.9	2.8	3.2	3.5	3.3	2.6	2.7	2.7	2.6	2.6	
	薬剤師	0.1	0.1	0.2	0.4	0.6	0.4	0.6	1.1	0.7	0.6	1.1	1.4	0.7	
	栄養士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	
	相談支援専門員	1.9	0.9	0.9	1.2	0.5	0.9	0.7	0.8	0.9	1.3	0.8	0.9	0.9	
	事務職員	1.9	1.4	1.5	1.4	0.9	1.1	1.1	1.1	0.9	1.2	0.9	1.4	1.2	
	ピアサポーター	8.7	3.1	3.3	3.0	2.9	2.4	3.1	2.3	2.2	2.3	1.9	2.8	2.4	
	その他	1.3	0.9	0.8	0.8	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.6	0.7	0.8	0.6	
		小計	79.3	50.1	49.5	49.7	48.7	48.4	50.1	50.3	45.4	42.7	47.7	48.4	41.4
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

4. 支援開始後12カ月以内に提供されたコストの推移

本事業では、算出された職種別ケア量（分）に、「平成23年賃金構造基本統計調査」（厚生労働省、以下「賃金センサス」という）の結果から算出した各職種別単価（円/分）を乗じることで、支援開始後12カ月以内に提供されたコスト（人件費）の推移を算出した。

なお、「平成23年賃金構造基本統計調査」で統計値が得られる職種区分と、本事業における職種区分が合致しないため、便宜的に下表のように設定した。

図表Ⅱ-40 ケア量の換算単価

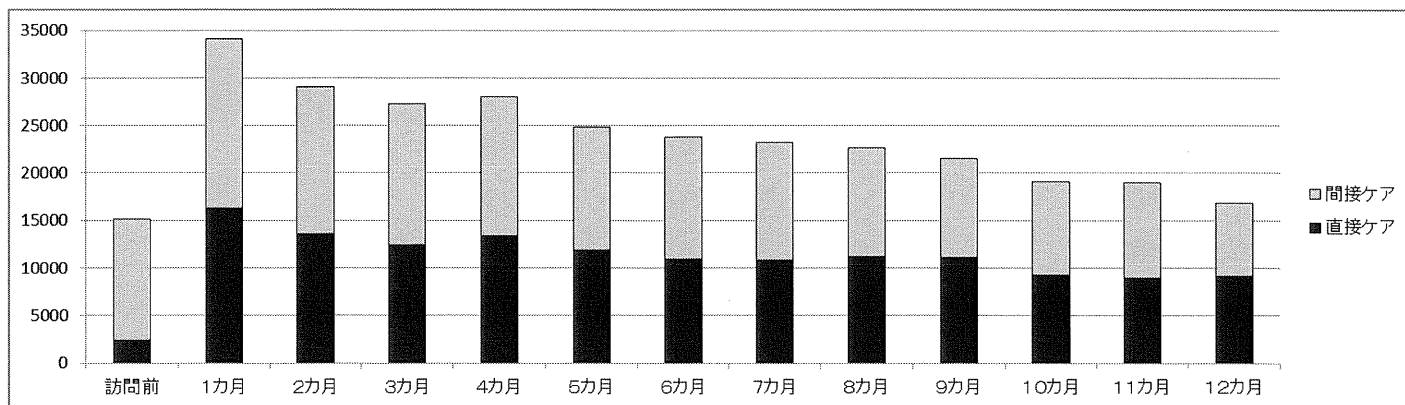
職 種	単 価	賃金センサスにおける職種
精神科医	91.2 円/分	医師
保健師	39.0 円/分	看護師
看護師	39.0 円/分	看護師
精神保健福祉士	32.4 円/分	理学療法士、作業療法士
作業療法士	32.4 円/分	理学療法士、作業療法士
臨床心理士	32.4 円/分	理学療法士、作業療法士
薬剤師	40.4 円/分	薬剤師
栄養士	26.4 円/分	栄養士
相談支援専門員	32.4 円/分	理学療法士、作業療法士
事務職員	23.8 円/分	看護補助者
ピアサポータ	23.8 円/分	看護補助者
その他	23.8 円/分	看護補助者

算出した結果、全体では、1カ月目の34,094円（直接ケア：16,254円、間接ケア17,840円）が最も多く、2カ月目以降は1～2万円台で推移していた。

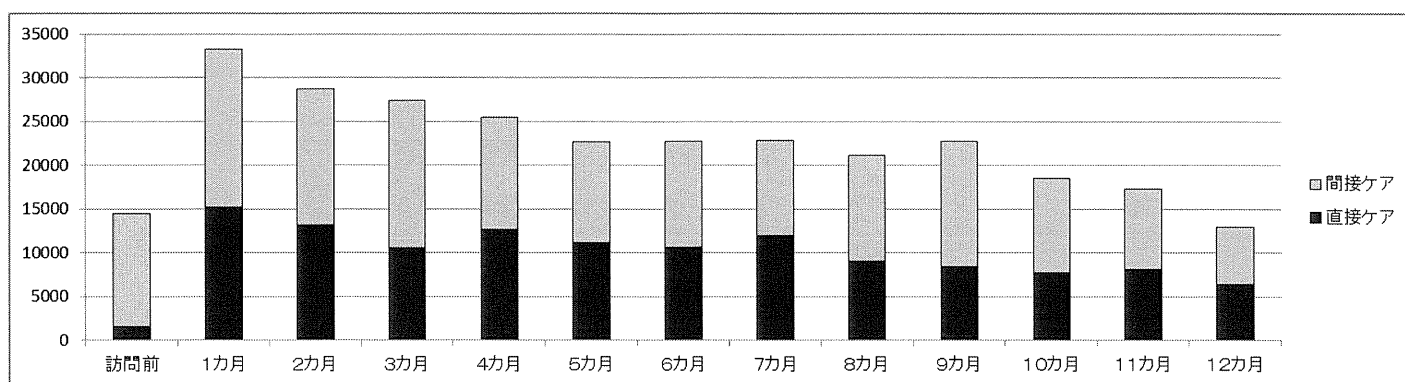
入院・施設入所の群では、1カ月目の33,227円（直接ケア：15,153円、間接ケア18,074円）が最も多く、2カ月目以降は1～2万円台で推移していた。

入院等以外の群では、1カ月目の35,874円（直接ケア：17,349円、間接ケア18,525円）が最も多く、2カ月目以降は1～3万円台で推移していた。

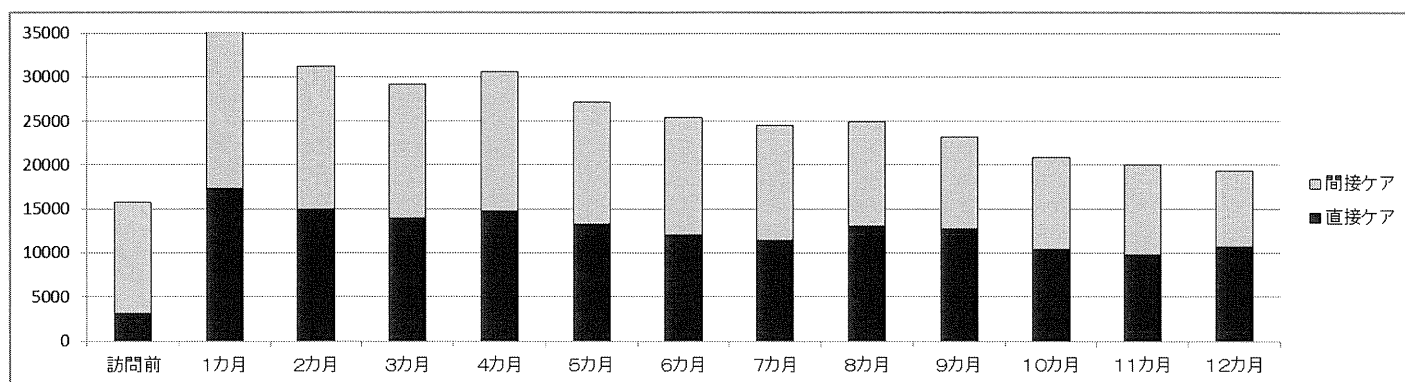
図表Ⅱ-41 支援開始後12カ月以内に提供されたコストの推移【全体】（単位：円）



図表Ⅱ-42 支援開始後12カ月以内に提供されたコストの推移【入院・施設入所】（単位：円）



図表Ⅱ-43 支援開始後12カ月以内に提供されたコストの推移【入院等以外】（単位：円）



**Ⅲ. 従来の診療報酬制度では
算定されない、アウトリーチ
による先駆的ケア**

Ⅲ. 従来の診療報酬制度では算定されない、アウトリーチによる先駆的ケア

平成 25 年 12 月末時点での診療報酬制度では算定・加算されない「24 時間対応」「電話・メール対応」「同日複数回訪問」「受診同行」「患者以外への訪問」及びその他の先駆的ケアを実施した事例を抽出し、支援対象者の状態像の推移と実施した先駆的ケアに着目してまとめた。

また、「同日複数回訪問」と「同行受診」については、受託している 37 チーム中、回答のあった 16 チーム(43.2%)において、平成 23 年 9 月～平成 25 年 10 月までに本事業の対象者となった事例から、それぞれデータに欠損のない 178 件と 173 件を、実施ケースと非実施ケースの 2 群に分け実施率を算出するとともに、精神科診断名、支援類型の割合を比較した。

1. 24 時間対応・電話対応・メール対応を実施した事例

24 時間対応・電話対応・メール対応は「24 時間対応体制加算」及び「24 時間連絡体制加算」として訪問看護に加算されてきたが、本事業ではより幅広い職種による実践がされていた。

1) 多職種による頻回の電話対応を実施した事例	男性	50 代	F2	P. 58-61
2) 夜間休日を含めた 24 時間体制で同日複数回訪問等の支援を行った事例	女性	50 代	F2	P. 62-65
3) 頻回なメールのやり取りで不安や悩みを傾聴し力づける支援を実施した事例	女性	30 代	F4	P. 66-69

2. 同日複数回訪問を実施した事例

1) 同日複数回訪問を実施した事例	女性	50 代	F2	P. 70-73
2) 同日複数回訪問を実施した事例	女性	40 代	F2	P. 74-77

「同日複数回訪問」とは、支援対象者 1 人に対する同日中における複数回の訪問を示し、本事業における実施率は 16.2%であった。

図表Ⅲ-1 「同日複数回訪問」提供ケースの特徴

	実施ケース (n=31)		非実施ケース (n=147)	
	人数	割合	人数	割合
精神科主診断名				
F2 統合失調症	26	86.7%	108	68.8%
その他	4	13.3%	49	31.2%
支援類型				
受療中断	18	58.0%	94	64.0%
未治療	4	12.9%	20	13.6%
ひきこもり	0	0.0%	14	9.5%
長期入院	9	29.3%	19	12.9%

3. 同行受診を実施した事例

1) 同行受診及び同日複数回訪問を実施した事例	女性	50代	F2	P. 78-81
2) 同行受診を実施した事例	女性	40代	F2	P. 82-85

「同行受診」とは、対象者のご自宅から医療機関までのスタッフによる受診同行を示し、本事業における実施率は32.4%であった。

図表Ⅲ-2 「同行受診」提供ケースの特徴

	実施ケース (n=56)		非実施ケース (n=117)	
	人数	割合	人数	割合
精神科主診断名				
F2 統合失調症	37	66.1%	88	75.2%
その他	19	33.9%	29	24.8%
支援類型				
受療中断	36	64.3%	73	62.4%
未治療	13	23.2%	11	9.4%
ひきこもり	2	3.6%	12	10.3%
長期入院	5	8.9%	21	18.0%

4. 患家以外への訪問を実施した事例

1) 交通機関・買い物・役所での手続きを支援した事例	女性	50代	F2	P. 86-89
2) 入院中も支援を積極的に行い、その後の支援に有効だった事例	女性	40代	F2	P. 90-93

5. その他の先駆的な事例

1) 地域活動支援センターが中心となったチームにおける事例	女性	50代	F2	P. 94-97
2) ピアサポーターによる訪問を実施した事例	女性	40代	F2	P. 98-101

1. 24 時間対応・電話対応・メール対応を実施した事例

1) 多職種による頻回の電話対応を実施した事例

	支援開始時	支援終了時
基本情報		
性別・年齢	男性・50代	
世帯状況・居住形態	独居・賃貸（集合住宅）	
経済状況・就労状況	障害者年金・生活保護・無職	
支援期間	X-3年9月～X-2年6月	
支援終了事由	拒否していた障害者自立支援法・介護保険法によるサービス等への移行が成功し、受療も並行しながら地域生活の継続が可能な状態となったため	
病態像		
類型	長期入院等の後退院した者や、入院を繰り返す者	
主診断名	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	
副診断名・身体合併症	なし	
服薬	あり	あり
GAF	40	65
SBS	24	12
過去 18 カ月の入院期間	あり	なし
ケアの概要		
総ケア量	18,767 分	
直接／間接ケア量	17,340 分／1,427 分	
会議回数	47 回	
病歴	<p>40代で被害妄想などによる異常行動がみられた。</p> <p>X-17年、幻覚妄想状態にて医療保護入院となった。幻覚妄想状態は改善するが、意欲低下は継続していた。X-6年3月に保護者の長期入院が決まり、世帯分離、生活保護受給開始となった。</p>	
支援導入の経緯	<p>X-3年6月、身体的な訴えや不安症状は残存していたが、本人の希望もあり退院パスを導入し、アパートでの独居を目標に退院予定となった。</p> <p>同年9月、14年に渡る長期入院の後、キーパーソンが不在の中で初めての独居であることから退院に対する不安が強くなり、本人から病院 PSW に退院についての相談があった。買い物、調理、保清、交通機関の利用などの日常生活能力が低いことにより、生活支援が必要であり、また本人の不安への対処も必要であった。病院ソーシャルワーカーからチームへ相談があり、判定会議を行い支援対象者となった。支援の目標として、日常生活技術の獲得・拡大の支援、不安や困りごとへの対応、外来受診の継続支援や、服薬支援などが挙げられた。</p>	

① 支援開始からの月数と内容別ケア量

本事例では、「ケア計画の作成・ケアマネジメント」の直接・間接支援が開始1~2カ月頃は多く、3~5カ月は低下し、6カ月目にやや増加し、7カ月目以降は減少していた。直接ケアの内容をみると、支援開始時には「日常生活の維持・生活技術の拡大・獲得」「対人関係の維持・構築」「精神症状の悪化や増悪を防ぐ」「対象者のエンパワメント」支援などが幅広く行われており、3カ月以降は食生活への支援、金銭管理への支援などの「日常生活の維持・生活技術の拡大・獲得」が支援の中心となっていた。6~8カ月には全体的に支援が低下し、9カ月目には、「身体症状の発症や進行を防ぐ」「対象者のエンパワメント」支援が増加していた。9~10カ月には再度「ケア計画の作成・ケアマネジメント」が増加し、「社会生活の援助」が実施され支援が終了していた。

図表Ⅲ-1 ケース：支援開始からの月数と内容別ケア量

